

令和6年度第1回ビジョン懇談会で頂いた御意見

	御意見		御意見に対する考え方
1	評価のPDCAサイクルについて	適切な指標による評価を行い、評価を踏まえた見直しを行った結果、実施状況が改善することが重要	・事業の目的に沿った適切な指標の設定を検討し、今後の見直しに反映してまいりたい。
2	事業実績に関する報告について	連携中枢都市圏のメリットや各市町村の役割が分かるような実施状況の記載があるとよい	・資料の体裁を工夫し、連携のメリット、連携の拡大状況や取組を行った市町村について、分かるように記載したい。
3		連携先市町村が増えているのかが分からない。連携拡大の指標の一つではないか。	
4		連携がうまく機能している分野、逆に連携が進まない分野が見えるようにすると、有効な事業を検討できるのではないか。	
5	今後の取組について	住民ニーズを重視した取組を行うことで、住民の圏域に対する認知度も向上するのではないか。	・住民ニーズの把握機会を増やすなどして、住民に便益をもたらすことを意識した取組やKPIを検討してまいりたい。
6		旅先納税の活用について、市町村の多様な魅力を発信するため、札幌ばかりでなく各市町村の道の駅や地域の特売所等へ観光客が来るような取組が必要	・「周遊の促進」という旅先納税導入の目的が達成できるよう、北海道観光機構とも相談しながら、市町村へ観光客が訪れるきっかけとなるような取組を進めてまいりたい。
7		路線バス確保のため、若者にバス運転手という職業に興味を持ってもらう等の取組が必要	・「さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会（事務局：石狩振興局）」が策定する地域公共交通計画においてもバス運転手の確保の課題解決に取り組むこととされているため、石狩振興局と情報共有しながら、圏域内でのイベントをPR等に御活用いただくための取組を進めてまいりたい。
8		圏域の若者を各市町村で囲い込むのではなく、広域で育成するという視点や、地域で活動する若者を増やすような取組を期待する。	・大学生をはじめとする圏域の若者が、各市町村に関わりを持つきっかけづくりを行うなど、札幌にとどまらず圏域全体の活力となるような取組を検討してまいりたい。
9		1期目は特徴的な取組がなかったため、2期目では、この圏域ならではの事業や、圏域でやることによって魅力が増すような事業を検討してほしい。	・圏域の魅力向上、住民の便益向上を図るために「さっぽろ圏の特色や強みを生かした取組」について、圏域市町村の御意見を伺いながら、取組の深化に繋げていきたい。
10	ビジョン懇談会構成員について	構成員が1人を除いて男性であることと、ほぼ札幌勤務で圏域市町村の関係者がいないことから、今後の議論活性化のためにも構成員の多様性について検討してほしい。	・男女比については、構成員の所属団体の方と相談の上、女性の比率を高めていくよう努めたい。 ・圏域市町村の関係者を構成員とすることについては、手法や時期について圏域市町村と相談の上、進めていきたい。